

令和4年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月28日に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和4年4月19日
- ◆実施対象 小学6年生
- ◆調査内容
  - ・教科調査（国語、算数、理科）
  - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	○
算数	○
理科	△

◎＝全国平均を上回る  
 ○＝全国平均とほぼ同じ  
 △＝全国平均を下回る

質問紙	
国語への関心等	△
算数への関心等	◎
理科への関心等	○
やさしさ	○
たくましさ	△
こころざし	○

「湖西市教育振興基本計画」  
 における基本理念より

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	正答率（全国）
国語	1ー	△グループでの「話し合いの様子の一部」を読み、ある人物が発言した理由を選ぶ。	・話し言葉では、同音異義語の意味を誤解されやすいため、言葉の意味を説明したという話し手の意図を捉える。	83.1	85.5
	1三	△「話し合いの様子の一部」を読み、ある人物が質問して、知りたかった内容を選ぶ。	・話し合いの中で、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことは何かを捉える。	82.7	84.7
算数	1(1)	○ $1050 \times 4$ を正しく計算する。	・かけられる数に0を含む、かけ算の積を正確に求める。	93.6	92.4
	4(2)	○プログラミングの中で、長方形をかくために必要な辺の長さを答える。	・長方形は、二組の向かい合う辺の長さがそれぞれ等しいことを理解する。	81.9	83.2

理科	1(1)	○見いだされた課題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ。	・4人の課題の違いを読み取り、7日後の観察記録の内容から、記録者を正しく推測する。	92.8	92.9
----	------	---------------------------------	---	------	------

### △もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	正答率(全国)
国語	1四	◎「話し合いの様子の一部」に続けて、自分だったらという視点で、条件に合わせて文章を書く。	・立場を明らかにして自分の考えを述べ、問題点に対する解決方法を50字以上80字以内にまとめて書く。	52.6	47.7
	3二	△ペアでの「伝え合いの様子の一部」を読み、教えてもらった文章のよい点を、書いた人の立場に立って、条件に合わせて書く。	・文章に対する感想や意見を伝え合うことで見つけた文章のよいところを、60字以上100字以内にまとめて書く。	33.0	37.7
算数	1(4)	○カップケーキの値段を計算せずに比べる場面で、どのような概数で求めればよいかを選ぶ。	・かけ算の積が大きくなることを見積りによって確かめるために、小さくした概数で求めるとよいことが分かる。	33.6	34.8
	2(3)	◎果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。	・飲み物の量は $1/2$ になるが、一人分の飲み物に含まれている果汁の割合は変わらないことを理解する。	25.2	21.4
理科	3(1)	○鏡を操作し、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。	・日光は直進するという性質と、的、段ボール、人の位置から正解を導く。	27.1	27.8

### ◆成果と課題

国語では、「話すこと・聞くこと」の内容は、正答率が高い結果でしたが、「書くこと」「読むこと」は低い結果でした。また、無解答率が、ほとんどの問題で全国平均より高く、自分の考えに自信をもったり、最後までねばり強く取り組んだりすることを苦手とする児童が多いことが分かりました。

算数では、果汁が含まれている飲み物を題材とした「変化と関係」の領域や、お楽しみ会を題材として表や円グラフを使った「データの活用」の領域で、正答率が低かったです。日常生活において、算数を使う場面をたくさん経験し、学んだことを活用できるようにしていくことが、今後の課題です。

理科では、それぞれの課題を読み取って、調査活動の様子を推測したり、観察で得た結果を分析して、規則性を見いだしたりする問題の正答率が高かったです。考察した理由を実験結果を基にして記述したり、的、段ボール、人の位置を平面で捉え、直進する光との関係を図として考えたりすることが苦手な児童が多いことが分かりました。

◆**今後の取り組み** 湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 問題文を読み直し、分かっていることと、問われていることを確認した。
- 苦手とした問題を復習し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 国語・算数の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。

★**国語**★

- ・目的を意識して書いたり、条件に合わせて書いたりする経験を積み重ねる。
- ・読書や音読の機会を増やし、文章の中から大切な言葉を読み取れるようにする。

★**算数**★

- ・言葉や図を使って、自分の考えを書いたり、友達に説明したりする活動を設定する。
- ・日常生活の事象を取り上げ、生活の中で算数が活かせることに気付けるようにする。

★**理科**★

- ・児童自身で課題を見つけ、解決するための方法や手順を考える機会をつくる。
- ・実験や観察で得られた情報を整理し、根拠や理由をもって考えられるようにする。

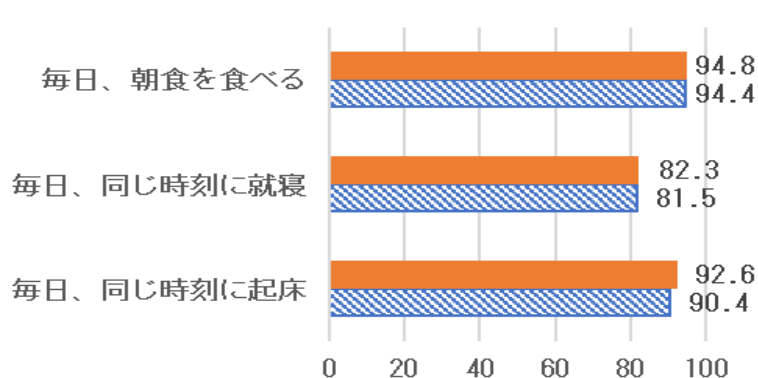
※今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

**質問紙調査に関すること**

質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計69の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。

■湖西市 ■全国

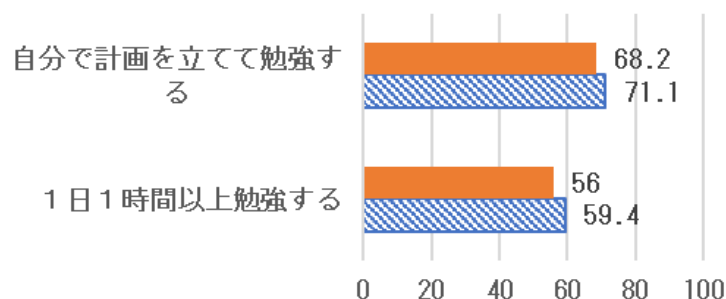
○**規則正しい生活**



毎日、朝食を摂ると、頭と体がしっかり目覚め、脳の働きも活発になって集中力が高まります。

また、良質な睡眠は、体の成長だけでなく、記憶の整理や学習の定着も促します。毎日、8～10時間の睡眠が確保できるのが理想です。今後も規則正しい生活を送ってほしいよう、声掛けや見届けをお願いします。

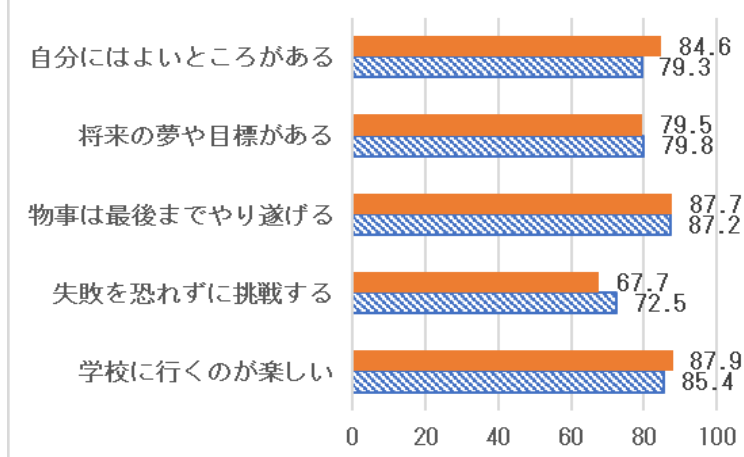
△**家庭学習に関すること**



自分で計画を立てて勉強している児童の割合は、全国平均と比べて低い傾向が見られます。テストの日程や範囲を前もって知らせ、自分の目標に向かって計画的に勉強できるよう、指導していきたいと思えます。

また、結果を踏まえて、学習方法や計画を修正する力も求められます。中学生に向けて、まずは1日1時間、机に向かってみましょう。

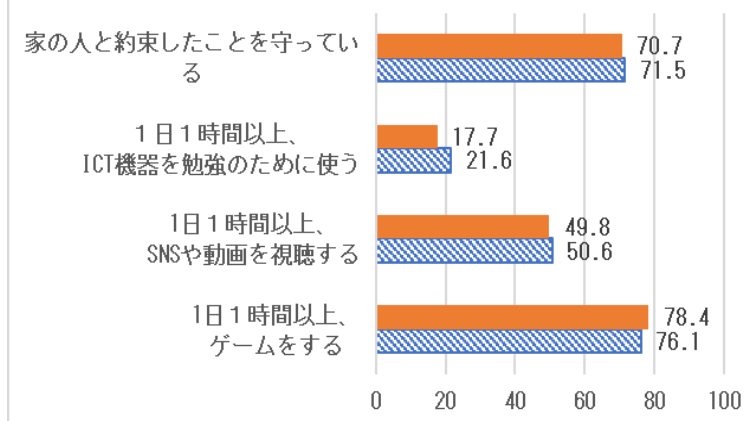
## ◎自分に関すること



8割以上の児童が、自分のよさを認めています。家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、児童の自己肯定感を高め、成長につながります。

新しいことにチャレンジして、失敗したら改善策や別の方法を考える経験も必要です。「こんな人になりたい」という目標や向上心をもって、失敗を恐れず、様々なことに挑戦してもらいたいです。

## ○ICT機器やメディアとの関わり



学校では、1人1台タブレットを使い、学習の充実を図っています。

家庭でも、学習や娯楽にICT機器が欠かせなくなっています。今回の調査では、SNSや動画視聴の時間が長いほど、全教科において、平均正答率が低い傾向が見られました。

また、1日のゲームが4時間以上と回答した児童が14%もいることが分かりました。

使用する時間や場所、内容など、いま一度お子さんとルールを話し合ってみてください。

## 学びの基礎 7つの取り組み

### 愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを使って思いを伝えましょう
- 進んであいさつをしましょう
- 早寝・早起きの習慣をつけましょう
- テレビやゲームの使用は、ルールを守りましょう
- 体を動かして体力をつけましょう
- 友だちといろいろなことにチャレンジしましょう
- 朝ごはんをしっかり食べましょう

調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちら

